

平成 21 年度当初予算 施策別概要

553 港湾の整備

(主担当部：県土整備部)

55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)

55302 物流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)

< 施策の目的 >

(対象) 港湾利用者が

(意図) 物流・人流拠点や親水空間として利用しやすい港湾になっている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
入港船舶総トン数 (5トン以上の船舶)	目標値	-	8,000 万トン (H18)	8,144 万トン (H19)	8,222 万トン (H20)	8,300 万トン (H21)
	実績値	7,861 万トン (H17)	7,681 万トン (H18)			

県内 20 港湾における 5 トン以上の船舶の入港した総トン数

県の取組目標項目(副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
人流を目的とする係留施設(公共)の延長	目標値	-	516m	926m	926m	926m
	実績値	516m	516m			
物流を目的とする係留施設(公共)の延長	目標値	-	37,927m	37,927m	37,927m	38,031m
	実績値	37,927m	37,927m			

< 進捗状況(現状と課題) >

- 三重県地域防災計画において、緊急物資等の備蓄・集散上の拠点として第 1 次拠点及び第 2 次拠点に指定された 8 港湾のうち、7 港湾において耐震強化岸壁の整備を完了していますが、残りの 1 港湾について耐震強化岸壁の整備を進めていく必要があります。
- コンテナ貨物量の増大など、県内の港湾を取り巻く環境の変化に対応するため、産業を支える物流機能や港の交流機能などの充実強化が港湾に求められています。
- このため、四日市港では、円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備、増大する貨物量に対応した施設整備を進める必要があります。

< 平成 21 年度の取組方向 >

大規模地震における緊急物資等の備蓄・集散拠点を確保するため、耐震強化岸壁が未整備である 1 港湾において、早期完成をめざし整備を進めます。

四日市港において、円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備や霞ヶ浦北ふ頭 80 号岸壁の背後地の整備を進めるとともに、効率的なコンテナターミナルの運営など物流機能の高度化・効率化に向けた取組を進めます。

<主な事業>

国補港湾改修事業【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

予算額：(20) 909,000千円 (21) 777,000千円

事業概要： 尾鷲港の耐震強化岸壁、津松阪港（大口地区）の航路浚渫、鳥羽港の小型船だまりの整備を進めます。

公共土木施設維持管理費（港湾関係分）

【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

予算額：(20) 141,713千円 (21) 141,963千円

事業概要： 県管理港湾19港において、港湾施設の機能が十分発揮できるよう施設の維持補修、港湾緑地の維持管理を行います。

四日市港振興事業【基本事業名：55302 物流を支える港湾機能の充実・強化】

予算額：(20) 2,061,686千円 (21) 2,001,512千円

事業概要： 四日市港管理組合への負担金等（長期的な開発、利用及び保全に関する指針となる港湾計画の改訂や円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備等）